

4 扶助費は欠かせない経費です

社会保障として現金や物品などを支給するための経費です。生活保護や医療費助成など、市民に直接支給するものから、子どもや障がいのある方などが、必要な施設を安心して利用し続けるために、施設の運営法人に支給するものなどがあります。

5 企業・団体を支援します

さまざまな民間団体の事業を支援する経費などです。また、水道・下水道、病院など、市民の生活に欠かせない事業への支出なども含まれます。



社会福祉団体などの運営支援は、まちそのものの運営でもあるのです。

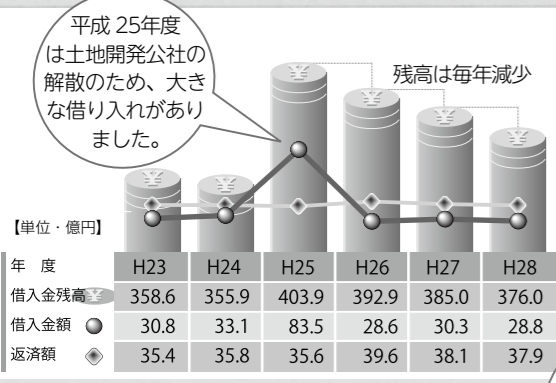
歳出予算総額

380億6,995万3,120円

6 計画的な返済が大切です

道路工事や建物の建設に必要な市債を、減らしていくための経費です。必要なときに計画的に借りて、計画的に返していくことが大切です。

《まちの借入金残高》

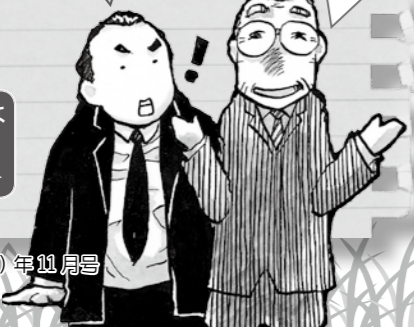


次の世代への負担を減らし、将来必要とされる経費に備えるために、新たな借入れを抑えて、計画的な残高の減少に努めています。

来月もやるの??

来月はどんな事業にどれだけ使ったかなど、具体的に話します。

市の財政に関する詳細は
総務部 財政課 財政係
☎(24)0541 ☎(22)8854



スリムさも大事ですよ。

食費はまちのエネルギー源です。

市の一般会計を市《家計簿》に例

《平成28年度一般会計決算を、平成28

《支出》

食費 (人件費)	66,000円 (63億3,349万2,624円)
光熱水費・電話代 (物件費)	54,000円 (51億8,445万9,440円)
医療費 (扶助費)	86,000円 (82億388万3,946円)
娘への仕送り (補助費など、操出金・貸付金)	89,000円 (84億7,549万4,366円)
貯金の積み立て (積立金)	6,000円 (5億7,879万9,115円)
改修、家電の購入 (維持補修費、投資的経費)	55,000円 (52億4,135万6,113円)
ローンの返済(元利) (公債費)	42,000円 (40億5,247万5,716円)
合計	39万8,000円 (380億6,995万3,120円)



借入れより返済額が多いです。

商工業・農業などの産業振興のために
1万9,000円

消防や救急のために
4,000円

病気予防
ごみ処理などの
保健衛生のために
2万円

道路や保健衛生は市民のライフラインですから。

民一人当たりのえてみました。

年度末現在の人口で割った場合



守先輩の部下です。

久しぶりの登場です。

財政 進くん

財政 守くん

《収入》

給料 (市税)	156,000円 (149億7,954万8,458円)
諸手当 (国・道支出金)	99,000円 (94億3,387万7,291円)
家族からの仕送り (地方交付税、交付金、譲与税)	77,000円 (72億6,666万256円)
同居家族の収入 (使用料、手数料、分担金、負担金)	12,000円 (12億2,703万2,931円)
貸問の家賃収入 (財産収入)	10,000円 (9億7,378万6,891円)
貯金の取り崩し (繰入金、繰越金)	7,000円 (6億9,633万5,042円)
親類からの返済金など (諸収入・寄附金)	11,000円 (10億8,265万4,826円)
ローン借入れ (市債)	30,000円 (28億8,310万円)
合計	40万2,000円 (385億4,299万5,695円)



これから作る(直す)公共施設は、いまの子どもたちが将来使う財産です。

道路や公園などのまちづくりのために
3万9,000円

水道・下水道
病院会計に
2万3,000円

市債(借金)の返済のために
4万2,000円

教育・文化
スポーツの振興のために
3万5,000円

議会や市役所の運営のために
8万7,000円

福祉はまちづくりの基本です!

高齢者や障がいのある方、子育てなどの福祉のために
12万9,000円

市民一人当たりの支出を仕事の内容に振り分けると

ざっくりいうと左の分類になります。



千歳のまちの運営は、1年を基本に、入ってくるお金の使い道を計画し、1年後にどのように使ったかを確認します。この計画を《予算》、確認を《決算》といいます。まちのやりくりはとても大切なことです。市の担当・財政 守くんと進くんに、最近の千歳の家計簿(平成28年度の決算)を説明してもらいましょう。

歳入決算総額

385億4,299万5,695円

1 市税は最も大切な収入源です

市民の皆さんや企業などの事業者が払う市民税や、土地・建物、民間航空機などにかかる固定資産税などです。働く世代や企業などの《納税者》が、千歳のまちを支えています。



2 国・道の支援で事業を行います

市の事業に対して、国や北海道が一定の割合や条件のもとで補助金を支払います。自衛隊のまちとして入る交付金も大きいです。

3 将来を見据えての借金です

現在皆さんが使っている道路や施設は、過去の借金によって作られ、皆さんの税金からも返済しています。新しい借金は、将来の市民の利用を考えたものでもあります。